

「学力向上ポートフォリオ(木崎小学校版)」

学力向上目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
 - ・単元テストの国語「書くこと」、算数「図形」の値を3pt向上させる。
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え方)より自校の平均正答率を3pt向上させる。
- 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・令和3年度全国学力・学習状況調査の【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より3pt向上させた値にする。

具体的な手立て

国語

- ・朝学習等で、書く力(字数制限・目的意識をもたせる)を伸ばす時間を設定する。
- ・漢字の知識は、文字を書くだけではなく、その漢字を使って文を書くようにして定着を図る。
- ・言語事項の単元における、指導の改善を図る。
- ・「読解」は、自分で考えたこと、読み取った文章を要約する経験を積ませる。
- ・導入の段階で、前学年で既習の教材を紹介して、学習を想起させる。
- ・手紙を書いて出す等、実践経験をさせる。
- ・「敬語」は、相手や場面を明確にして具体的に指導する。

算数

- ・レディネステストを実施し、前年度の理解度を確認する。定着していないところを補修する。
- ・楽しく授業に取り組めるような工夫をたくさん取り入れる。
- ・図形の公式だけではなく、「どうしてその公式になるのか」などの意味を理解させる。
- ・数直線を確実に使えるように指導する。
- ・「量と測定」において、単位の仕組みを見つけていく授業を行う。
- ・「図形」では、低学年のうちから様々な図形を取り上げ、図形の構成要素を明確にする。
- ・情報過多の問題を解く学習時間を設定し、必要な情報を自分で見つけられるようにする。
- ・知識を活用できるような問題を適用問題等で行う。
- ・作図の経験を重ねて体得できるようにする。
- ・問題文を図に表わすことで、問題が何を求めているか明確にする。
- ・習熟度によって、学習問題を工夫する。
- ・毎時間学んだことを「振り返る」ことによって、知識等の定着を図る。

結果

- ・自校の単元テストでは国語「書くこと」算数「図形」の値を3pt向上させることができた。
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え方)より自校の平均正答率を3pt向上させることができた。
- ・令和3年度全国学力・学習状況調査の【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より3pt向上させることができた。

今年度の振り返り・次年度に向けて

・知識・技能・思考力・判断力等の成果指標を達成することができた。主体的に学習に取り組む態度については、問題解決の見通しをもたせるなどし、引き続き意欲的に学習に取り組む姿勢を継続して維持させる。令和3年度全国学力・学習状況調査の結果では、国語の「話すこと・聞くこと」、算数「数と計算」「測定」に関しては全国の平均値を下回っている。次年度、国語は「話の全体像をとらえたり、関係性に気づいたりする力」、算数は「式や図などから関数を読み取る」といった数学的な読解力・表現力を重点的に育成していきたい。また基礎的な知識や技能についても定着を図っていきたい。